

協働のまちづくり説明会記録(高根地区)

《開 会》

《説明者等紹介・日程説明》

《市民活動推進課説明》

①地域ですすめるまちづくりについて

(協働のまちづくりについて、自主運営組織のあり方について)

《企画課説明》

②行政ですすめるまちづくりについて

(市民参加条例(仮称)の制定に向けて)

《高根支所説明》

③高根地域における協働のまちづくりについて

《質疑応答》

- ・出席者に若い人が少ないが、どのように案内したのか。また、高根地域では民生児童委員などの役職についている方で若い人がいない。

今回は、地域審議会委員や民生児童委員には個別にご案内させていただくとともに、町内会にご協力いただき回覧板で地域の皆さんに周知させていただいた。なお、町内会長はご指摘のとおり高齢の方が多いが、主任児童委員や地域審議会委員には30代の方が就任されている。

- ・市民参加条例が制定された場合は、市議会は必要なくなるのではないか。

議決事項に関する最終的な決定権は議会にあり、その議会に提出する案の検討段階において、市民のみなさんから意見等を伺おうとするものである。議会の必要性がなくなるとは考えていない。

- ・市民参加条例の策定スケジュールはどのような予定か。

今年度中の条例制定を目指し、進めていきたいと考えている。今後は、市民説明会(21地区)で伺った意見等を踏まえ、条例素案の策定、パブリックコメントの実施、条例案の策定をすすめていく予定である。

- ・協働のまちづくりにおける新たな組織は地域審議会と同じものになるのか。

地域審議会は合併協議の中で、合併特例法に基づき平成26年度までという期限を

設けて設置することが決定されたものである。そうした中、地域がどうあるべきかということについて、地域住民が話し合う場は必要であるというご意見を受け、地域審議会が担っていた地域の様々な課題について話し合うという役割を含めた組織を提案している。

- ・ 10年後の高根地域は、各町内会が10人ぐらいの規模になると予想している。そのような状況の中で、提案されたような協働のまちづくりに向けた組織や仕組みができるのかは疑問である。行政には、限界集落が消滅しないためのまちづくりを検討していただきたい。また、提案内容を聞いていても高山地域を前提としたようなものに思えてしまい空虚に感じる。もっと現場の声を聞いていただきたい。

高根地域の状況は認識している。今回提案しているものは一つの例に過ぎない。どのような組織や仕組みが良いかは、それぞれの地域で検討していただくことが必要である。なお、支所も一緒になって検討するとともに、他市の事例など参考となる情報は提供させていただく。

また、高根地域の課題である診療所やバスなどについては行政として考えていかなければならない部分であり、引き続き皆さんからご意見を頂戴したい。

高根地域においては、集落活動をどのように維持していくかが、またどう生活していくかが最も重要な課題であると認識している。ぜひ、本日の説明会をきっかけに地域でも話し合いをしていただきたい。

- ・ 資料の中に「地域（高山市）に住み続けたい」という表現があるが、市としては現在の居住地ということには拘っておらず、市内転居は問題ないと考えているのか。もっと支所地域にも配慮し、今の居住地に住み続けてもらうということを強調してほしい。

自分の居住している地域に今後も住み続けたいという思いが集まることにより、高山市全体が住み続けたいまちになると考えており、それぞれの地域に住み続けたいと思っただけであることが最も重要であると認識している。

- ・ 人口が少なくなる中、社教では身の丈にあった活動をしていこうと話し合いをしているところであるが、高根地域は各集落が離れており、全体での行事の開催は困難である。行政としてこうした地域にどのような支援ができるか考えていただきたい。

高根の元気を語る会などにおいても検討していただきたいと考えている。また、課題の分野に応じて、それぞれの団体と検討していきたい。

- ・ 今回の会議に参加するにあたり、地域住民がみんなで話し合い、まちをまもり、つくる会ができたと思っていた。ぜひ、次回開催する際には、より多くの方に声をかけて参加していただきたい。

今回の説明会をきっかけに、地域全体で話し合う場を設けていただきたいという提案である。また、より多くの方に参加いただける方法については、検討させていただ

きたい。

- ・町内会への回覧物が多いため、回覧物を見落とすことがある。また、家族の誰かが見るとすぐに回してしまうことがあるため、回覧文書をカラー刷りにしたり、メール配信システムを活用するなどもっと周知できる方法を考えてほしい。

今後、検討させていただく。

- ・中心市街地ばかりでなく、過疎対策についてももっと行政には力を入れてほしい。まわりでは、市は真剣に医師の確保をしようとする気がないといった話も聞こえてくる。

医師確保の問題に限らず、市では過疎対策にもしっかり取り組んでいるので、ご理解願いたい。

- ・上ヶ洞バイパスのトンネル工事や国道361号の中之宿地内の改良など、高根地域では道路整備が遅れている。市としてもっと県と意思疎通を図り、一生懸命取り組んでもらいたい。

8月下旬に、市長や地域審議会長などが、ご指摘の上ヶ洞バイパスのトンネル工事と国道361号の中之宿地内の改良の2点に絞って県へ要望を行っており、しっかりと対応させていただいている。

《閉 会》